



## スマートシティエキスポ世界会議 2016 がバルセロナで開催 ボッシュが都市の利便性、安全性と エネルギー効率の向上につながる インテリジェントなネットワーク化ソリューションを紹介

2016年11月14日

PI 9474 RB Ho

- ▶ サンフランシスコ: 新たな都市開発プロジェクトのためのスマートな技術
- ▶ シュトゥットガルト: 空き駐車スペースにドライバーを案内するスマートフォンアプリ
- ▶ モビリティ、エネルギー、ビル、セキュリティとeガバナンスのためのスマートシティソリューション

シュトゥットガルト(ドイツ) – 2050年までに世界中の60億以上の人々が都市で暮らすことになる予測されており、それまでに利便性、エネルギー効率と安全性のレベルを引き上げる必要があるとされています。そのためには資源の持続可能な利用を目指したアーバンモビリティ向けの全く新しいコンセプトが不可欠になりますが、都市が「スマートシティ」へと進化すれば、この問題に対処する支援となります。そこでボッシュは、11月15～17日にかけてバルセロナで開催された[スマートシティエキスポ世界会議 2016](#)にて、人々の生活の質を向上し、同時にエネルギーと運用コストの節減を実現するインテリジェントなコネクテッドシティのための各種ソリューションとプロジェクトを発表しました。世界で生成されるエネルギーの約75%が都市で消費され、その40%が建物のみで消費されているため、都市のエネルギー効率のポテンシャルは、非常に大きいものとされています。さらに市場の専門家は、都市でネットワーク化が進めば、2019年までに約110億米ドル相当のエネルギーコストを削減できると推定しています。

### サンフランシスコ: 新たな都市開発プロジェクトのためのスマートな技術

海軍造船所([The San Francisco Shipyard](#))と、キャンドルスティックパーク・スタジアムの跡地に、新しい魅力的な「ウォーターフロントコミュニティ」を開発し、ここに住宅1万2,100棟、約43万坪の公園とオープンスペース、高級アウトレットモール、約50万㎡の商業スペース(研究開発/メーカー/オフィスなど)、約300のアーティストスタジオを建設するプロジェクトが進んでいます。これは、サンフランシスコ地震が発生した1906年以降で最も規模の大きい再開発プロジェクトとなります。このプロジェクトでは、FivePointとBosch technologiesがシップヤード区域のネットワーク化に協力して取り組み、モビリティとネットワーク化を充実させ、スマートホームやスマートコミュニティ向けのソリューションを備えたスマートシティの実現を目指しています。ボッシュはFivePointの技術パートナーとして参加し、住民が地域の公共交通機関に関する情報

をリアルタイムで入手したり、インテリジェントなモニタリングソリューションにアクセスできるスマートコミュニティアプリなど、この近代的な地域のためのスマートソリューションを構築しています。さらに、人々の生活の質の向上を促すスマートビルディングや効率的な交通マネジメントを実現する未来志向のソリューションも計画されています。

#### **シュトゥットガルト: 空き駐車スペースにドライバーを案内するスマートフォンアプリ**

モビリティは、あらゆる都市の「動脈」に相当します。しかしその一方で、手詰まり状態の大都市の数は増えつつあります。例えば市街地を走行する車両全体の約3割は、空いている駐車スペースをなかなか見つけられない車両だとされています。そこで、シュトゥットガルトのモビリティを担うシュトゥットガルト地域連合 (Verband Region Stuttgart) と協力して進めているパイロットプロジェクトで、ポッシュはスマートパーキングスペースマネジメントのテストを行っています。ポッシュは、シュトゥットガルトの通勤列車が走る沿線にある計15カ所のパーク&ライド施設に数カ月にわたって約2,500個のセンサーを設置しました。これらのセンサーを使って駐車スペースのリアルタイムの利用状況を表示できることを証明するために、今年10月中旬にパーク&ライド施設の駐車場でデモンストレーションを行い、このイベントに参加した地方自治体とパイロットプロジェクトのパートナーであるシュトゥットガルト地域連合の代表者のために、ポッシュのプロジェクト担当チームはこのシステムがどのように機能するかを説明しました。このシステムは、車両が駐車スペースに入ると、数秒後にオンラインディスプレイが赤に切り替わり、そのスペースが埋まったことを伝えます。さらに、そのスペースから車が出ると、数秒後にディスプレイはグリーンに切り替わり、スペースが利用可能な状態であることを伝えます。なお、このプロジェクトは2017年初めから実際の稼働に移る予定です。

#### **モビリティ、エネルギー、ビル、セキュリティとeガバナンスのためのポッシュのスマートシティソリューション**

スマートシティを実現するために、ポッシュはモビリティ、エネルギー、ビル、セキュリティおよびeガバナンス(電子的都市行政)分野向けの各種ソリューションを提供しています。モビリティに関するソリューションとして挙げられるのは、環境モニタリング、コネクテッドパーキング、フリート管理、eモビリティやインターモーダル輸送(さまざまな輸送機関を複数組み合わせる運ぶ輸送形態)などです。またエネルギーに関するものとしては、バーチャル発電所、エネルギー効率の優れた暖房/給湯/冷却システム、エネルギー貯蔵ユニットなど、セキュリティソリューションとしては防火用システム、出入管理システム、ビデオ監視システムなどがあります。さらにポッシュは居住用の建物向けとして、スマートホーム技術とネットワーク対応の各種家電製品を提供しているほか、eガバナンス向けとして、コミュニティアプリやシティデータプラットフォームを提供しています。

2017年1月5~8日にラスベガスで開催され、そこでポッシュは同様のスマートシティソリューションを紹介する予定です。

**CES 2017でポッシュの製品を体験** (開催地は米国ネバダ州ラスベガス): ポッシュはCES 2017で、IoTが日常生活に浸透し、モノが人々のパートナーになる様子を紹介す

る予定です。ここでは、IoTがパーソナルアシスタントのように、モビリティの改善、未来の都市生活のあり方、スマートホーム、健康管理の効率化、効率的な働き方など、さまざまな場面で人々の暮らしをサポートしてくれます。CES国際家電ショーの出展が5回目となる今回、ボッシュはテーマである「simply.connected」にふさわしい多数のソリューションを展示します。

**ボッシュの記者会見**: 2017年1月4日、9:00 – 9:45 AM (現地時間)、[ボッシュ・グループ取締役会メンバーのヴェルナー・シュトルト](#)がマンダレーベイ・ホテル南コンベンションセンターの舞踏室B/C/Dで記者会見を開きます

CES 2017におけるボッシュのハイライトを[ツイッターで紹介](#): #BoschCES

**ボッシュのブース**: 2017年1月5日(木)~8日(日): 中央ホール、#14128

**ボッシュのエキスパートによる講演会**:

- 2017年1月5日(木) 11:30 AM – 12:30 PM (現地時間):  
[Conference track “MEMS & Sensors: Personalizing Consumer Technology”, Session “Where are Consumer Electronics Taking the Sensors Industry?” with Dr. Stefan Finkbeiner, CEO and General Manager, Bosch Sensortec; Venetian, Level 4, Marcello 4501](#)
- 1月6日(金) 3:30 – 4:30 PM (現地時間): [Conference track “Vehicle Technology”; Session “Redefining the Automotive Infotainment Experience” with Mr. Torsten Mlasko, Las Vegas Convention Center N258](#)

**報道関係対応窓口**:

Christian Hoenicke

電話: +49 711 811-6285

#### **世界のボッシュ・グループ概要**

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2015年の従業員数は約37万5,000人(2015年12月31日現在)、2015年の売上高は706億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含む世界的な製造・販売ネットワークは約150カ国を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界約118の拠点で5万5,800人の従業員が研究開発に携わっています。私たちボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバ

ート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

\*2015 年の平均為替レート(1EURO=134.3 円)で換算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)